

市民ふれあいハートまつり多くの人でにぎわう

11月26日(土)、「市民ふれあいハートまつり」を開催しました。

市内のボランティアグループ、NPO団体、地区社協などの市民活動団体が活動紹介、実演・体験、発表に加えて、今年は3年ぶりにフリーマーケットを実施しました。

また、ポスター展には、市内小中学校の児童・生徒から寄せられた204点の大作が寄せられました。名物の模擬店も出店し、好天のもと、多くの来場者がイベントを楽しみました。



晴天に恵まれ、約千人が来場

被災地で地域でなにができるか？地区社協で研修会を実施

市内の地区社会福祉協議会では、地区社協ごとにいきいきサロンやふれあいの集いといった地域に根付いた様々な活動を実施しています。

社会福祉協議会では、地区社協の代表者・ボランティアスタッフを対象とした研修会を実施しています。

東日本大震災の発生を受け、地区社協間のつながりをより深めるため、合同の研修会を実施しました。

「被災地で地域で何ができるか」を研修テーマに、震災直後、相馬市災害ボランティアセンターにいち早く支援に駆けつけた千葉県社協川上副部長の現場からの報告を受け、地域コミュニティの重要性を改めて認識しました。



地域コミュニティの必要性を再認識

わたしのまちのボランティア

～人と人とのつながりを大切に～

野田市ボランティア連絡協議会
会長 小川 好江さん



野田市ボランティア連絡協議会は、ボランティア同士の横のつながりを深め、情報交換やボランティア活動を活性化させることを目的に平成6年9月6日に14団体で結成しました。

現在は、27団体、553名の会員が登録しています。

平成7年に発生した阪神淡路大震災をきっかけにそれまで主としてボランティアに携わってきた人々とは異なる多くの市民が災害ボランティアとして参加し、ボランティア元年と呼ばれるようになり、ボランティアという言葉が徐々に定着され、今回の東日本大震災でも、日本全国から年齢や性別にかかわらず、多くのボランティアが活躍しました。

ボランティア連絡協議会でも、会員に呼びかけ、義援金募集のため、街頭募金を実施しました。

今後もボランティア団体の横のつながりを深めつつ、市民誰もがボランティア活動に参加できるような環境づくりに心がけていきたいと思っています。



ボランティアサロン参加者大募集 のぞいてみよう！「技術ボランティアの世界」

技術ボランティアってなんだろう？

それは、障がい者の情報確保の為に技術を学び、習得し、活動しているボランティアです。技術の習得だけでなく、障がいをお持ちの方と日頃から交流し、情報保障のお手伝いをしています。

活躍されているボランティアグループのみなさんから活動のお話を伺い、技術体験もしてみましょう！当日は障がいをお持ちの方のお話も予定しています。興味はあるけれどもなかなかきっかけがない等…初めての方でも大歓迎！！

みなさんのご参加をお待ちしております。

〔日 時〕 3月24日(土) 10時～正午

〔場 所〕 総合福祉会館2階 第一会議室

〔内 容〕 グループ紹介と実技体験

要約筆記……………「ほたる」

点 訳……………「点訳の会」/「野田点訳奉仕会」

講 話……………中途失聴者・難聴者の集い

「みみづくの会」/野田市視覚障がい者協会

〔定 員〕 30名程度 申込締切：3月19日(月)

お申込・お問合せは野田市ボランティアセンター

☎ 7 1 2 4 - 3 9 3 9

ボランティア休日相談も同日開催します。

開催時間 9時～17時